

平成 23 年 1 月 26 日

企画書

1. 開催イベント名； 雨水ネットワーク九州 in 糸島
～ 天雨海（あま）ほめ祭りで、つながる仲間たちへ ～

2. 開催形式
活動発表、講演、展示会など

3. 趣旨

福岡の志賀海神社（しかうみじんじゃ）では海の民が山を称える山誉め祭り（やまほめまつり）が行われている。何とすばらしいことではないか。

雨は天から降って、山野、田畑、街を潤し、川を流れて海に至り、海の水は蒸発し天に戻っていく。古来、日本では天も雨も海も同じく「あま」と発音する。私たちの祖先は昔から、【水の循環】を知り、【水の循環】に感謝してきたのである。

昨年、福岡において、雨水を活かし循環する社会の実現を目指し活動する全国の市民、企業、行政および研究者などが集まり、第2回雨水ネットワーク会議全国大会を開催した。私たちは、全国大会の場を通して、自然の恵みである水の貴重さ、美しさ、危うさについて学び、水の恵みに感謝することの大切さを共有した。そして、本来つながって一体であった水の循環を取り戻すことこそが解決をもたらすプロセスであり、その実現のために雨水ネットワークを福岡から九州へと活動をさらに進展させることを目的として事業を行うこととなった。

雨水ネットワーク九州の第一回目の会場となる糸島市は、伊都国の時代より、九州で最も新しく技術・文化を受け入れる窓口となったアジア—日本の中での空間的な特徴を有しており、また山から海までの距離が近く、水の循環を目に見えて実感できる風景に恵まれている。また、ふるりのよい環境を地域住民の協力（さまざまな出方）により維持している実状は九州大学や福岡大学の研究者の注目を集めており、新しい時代を担う市民主体のまちづくりの可能性を秘めている。この地につどい、お互いを知り、新たな連携が生まれることを期待して、雨水ネットワーク九州 in 糸島を開催したい。

4. 主催者など

主催：雨水ネットワーク九州 in 糸島実行委員会、NPO 法人南畑ダム貯水する会

後援：国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市、糸島市、福岡地区水道企業団、九州大学大学院流域システム工学研究室、福岡大学工学部社会デザイン工学部水圏・流域システム研究室、志摩いきいき女性の会

5. 予定日時 平成 23 年 3 月 26, 27 日 (イベント 1 日、バスツアー 1 日)
6. 27 日バスツアー、バス会社や旅館のバス (大型バスは入れない、マイクロ)
7. 予定会場 糸島市健康福祉センター「ふれあい」
8. 参加費 無料 (交流会のみ有料、自由参加)
9. 内容 (予定)

<開会 10 時>

アイスブレイク ; インドネシアン - ダンス
開会のあいさつ、来賓のあいさつ ほか

基調講演 : 「豊かな海のための、水のつながる環境」 (50 分)

福岡大学 渡辺准教授

<昼食後再開 13 時>

みんなでみんなの発表会 (15 分以内)

- ・ 福田さんちの畑びらき (畑の水源確保実証実験)
- ・ 可也山から上初川へ (可也小学校発表 総合学習 ; ホタル飼育放流活動)
- ・ 薬王水の復活 (TOTO 助成事業 ; 一度涸れた瑠璃光寺の名水が、雨水をためて復活)

【波佐見の川づくり (来年の候補)】長崎県より

- ・ 漁師さんが山に木を植える活動 (加布里漁協)
- ・ 福岡県水産海洋技術センター (福岡市西区今津 温暖化による海の状況と変化)
- ・ 雨水をためるコミュニティ集合住宅構想 (企業)
- ・ 雨の伝道師、福岡大学より雨水モニター調査報告
- ・ サンダーバード ; 災害時に雨水が飲料水にできる自転車と、きれいな雨水のため方。
- ・ 二丈の赤米 (水に困っていないのが素晴らしい、美味しい米づくり)
- ・ オイスカ ; ミャンマーでの水事情と取組み

ディスカッション (全体討論 1 時間)

<17 : 30 終了 18 時~ 交流会>

10. 宿 泊 糸島の旅館・ホテル・民宿など (希望者)

11. 展 示 雨水利用道具類の展示（雨水タンク・浸透マス・取水装置・節水トイレなど）
12. 展示会 雨水機器の企業による展示（朝市プロムナード）
13. 販売会 地元の特産品など（希望者のみ/朝市プロムナード）
14. その他 朝市の見学、糸島内バス観光ツアー（3/27 水にまつわる所・名所など）

【お問い合わせ・予約】

吉村デザイン工房 担当：吉村 正暢 〒819-1323 福岡県糸島市志摩小金丸 405-2
TEL：092-327-0205 FAX：092-327-0205 HP-URL：<http://www.ameha.jp/>
E-mail：donguri@ameha.jp